

定期巡回・随時対応型訪問介護看護ガーデンハウスはまむら
介護・医療連携推進会議 報告書

開催日 : 令和 7 年 9 月 18 日 (木) 14:00~14:30

開催場所 : ガーデンハウスはまむら 3階食堂

<出席者>

出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者		地域包括支援センター	1
	利用者家族	1	地域住民の代表	1
	行政（支所市民福祉課）	1	知見を有する者	2
	地域の医療関係者	1		
事業所出席者	施設長			
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者			
欠席者	3名			

<状況報告> (令和 7 年 6 月~令和 7 年 8 月)

利用者の状況 (9月1日現在)	利用人員 (18 名) 男性 3 名・女性 15 名
	要介護1 (6 名) 要介護2 (4 名) 要介護3 (5 名)
	要介護4 (2 名) 要介護5 (1 名) 平均介護度:2.32
	平均年齢:89.37 歳 最若:68 歳 最高:105 歳
特記事項	
6 月 (登録 18 名)	新規利用 1 名、利用終了 0 名
7 月 (登録 18 名)	新規利用 0 名、利用終了 0 名
8 月 (登録 18 名)	新規利用 0 名、利用終了 0 名

<活動状況報告>

- ・令和 7 年 6 月から令和 7 年 8 月の活動実績を報告。
- ・令和 7 年 9 月から令和 7 年 11 月の活動予定を報告。

<事故等の状況>

5 件あり

- ・(状況) 22 時 50 分頃にコールあり、上記の時間に「冷蔵庫の前でふらつき、しりもちをついたと訴える。

(予防策) 老人車を使用するように伝えていく。

- （状況）昼食後薬の与薬時、他の利用者の薬を本人の口の中に入れた際に間違いに気づく。
直ぐに口腔内から薬を出させる。
（予防策）再度、与薬のマニュアルを徹底する。他の職員にも意識向上を促す。
- （状況）ナースコールあり。本人より「下駄箱を開けた際に扉が前額面にぶつかり、後方にしりもちをついた」と訴えあり。老人車を使用せずに居室入り口の下駄箱まで独歩で移動したとの事。外傷等なし。
（予防策）再度、老人車の使用を本人に伝えていく。訪室時や巡回時に老人車の位置を確認していく。
- （状況）ナースコールあり。本人よりクローゼットの中をつついた後に後方にバランスを崩し、転倒した際に床に右手首をついたと訴えあり。痛み、腫れあり、右手首の骨折の診断。
（予防策）再度、居室内の環境整備を検討。下肢の外傷もない為、引き続き下肢筋力維持の目的で歩行の機会を確保していく
- （状況）車椅子からベッド移乗時に大声あり。臥床後、排泄交換時に足の曲げ伸ばしにも大声あり。職員２名で足の観察を行うも外傷、発赤、腫れなし。夜間に入り、熱感、発熱あり。翌日、受診し左大腿骨遠位端骨折の診断あり。
（予防策）介助方法などリハビリ職員より指導を受け、統一した介護方法を行っていく。

<ご意見やご質問>

- 誤薬は他の事業所でも発生している。薬の落下事故など発生している。
- 骨折の原因は？
- 地域の行事に参加できるように行政も協力していきたい。